

第Ⅷ回 日本ケアマネジメント学会 ケアマネジメントスキルアップ研修会

認知症状のケアマネジメントの新たな展開

【研修の目的】 介護が必要になる原因のトップが「認知症」になりました。65歳以上の認知症患者数は平成24年の460万人から8年後の平成32年には600万人を超えると推計されています。認知症状をもたらす疾患も30以上あり、症状や生活上の課題も多様です。厚生労働省は新オレンジプランの数値目標を見直し、認知症の人を地域で支える体制整備を強化しています。この研修では、認知症に関する最新の医学的取り組み、認知症への制度的支援を学び、地域で認知症の人を支えるケアマネジメントの新たな展開を研修します。(認定ケアマネジャー資格更新に必要な実績点 10点付与)

<日時> 【東京会場】平成29年9月24日(日) 受付9:30 10:00~16:30

【大阪会場】平成30年2月12日(月・建国記念日) 受付9:30 10:00~16:30

<会場> 【東京会場】全水道会館 5階中会議室(JR水道橋駅 東口下車2分)

【大阪会場】OMMビル 3階OCホール

(京阪電車「天満橋」駅東口、地下鉄谷町線「天満橋」駅北改札口からOMM地下2階に連絡)

*学会HPに地図掲載

<参加費> 会員5000円 非会員8000円 定員90名 *キャンセル後の返金はできません。

<申込締切> 定員になり次第締切ります。

【プログラム】 *大阪会場は同じテーマで講義内容・シンポジストが変わります。決定次第HP掲載します

時間	研修内容	講師
		総合司会:柴山 志穂美氏
9:30~10:00	受付	担当:学会事務局
10:00~10:05	開会挨拶	服部 万里子氏
10:05~12:30	シンポジウム「認知症のケアマネジメントの新たな展開」 ① 「認知症の新オレンジプラン見直し」 ② 「医療とケアマネジメントの連携・統合」 ③ 「東京都介護支援専門員研修より リ・アセスメント支援シートの活用」 ④ 「認知症を地域で支える大牟田からの発信」 ⑤ 「認知症を地域で支えるケアマネジメント」 *質疑応答	司会:柴山 志穂美氏 ① 川島 英紀氏 ② 落久保 裕之氏 ③ 羽石 芳恵氏 ④ 梅本 政隆氏 ⑤ 小島 美里氏
12:30~13:30	昼休み	
13:30~14:25	大介護時代のケアマネジメント	服部 万里子氏
14:45~16:20	認知症に関する最新の医学的取組とケアの課題	松村 美由紀氏
~16:30	アンケート 閉会挨拶	落久保 裕之氏

注)プログラム・講師等は変更になる場合もございます。予めご了承ください

★講師 松村 美由紀氏(東京女子医科大学附属成人医学センター)

川島 英紀氏(厚生労働省 老健局 認知症施策推進室 室長補佐)

梅本 政隆氏(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域福祉・ボランティア係 主査)

小島 美里氏(NPO 暮らしネットえん 代表理事)

★本学会研修委員

委員長 服部 万里子(日本ケアマネジメント学会理事 NPO 法人 渋谷介護サポートセンター事務局長)

委員 落久保 裕之 (日本ケアマネジメント学会理事・落久保外科循環器科クリニック院長)

羽石 芳恵 (日本ケアマネジメント学会理事・野口(株)介護ジョブ ハーティケア 主任介護支援専門員)

柴山 志穂美(日本ケアマネジメント学会理事・県立埼玉大学准教授)